

看護管理学

ナンバリング:N4-S1-J06

| | | | |
|--------------|---------------------|--------|--------|
| 責任者・コーディネーター | 共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 共通基盤看護学講座、看護学部 | | |
| 対象学年 | 4 | 区分/単位数 | 講義/1単位 |
| 期間 | 前期 | | |

・学修方針(講義概要等)

看護は、個人、家族および集団等様々な対象に提供されるサービスである。安全で質の高い看護サービスを継続的に提供するためには、看護管理(看護サービス管理)が不可欠である。本科目では、看護管理を行う上で必要な、看護サービスの特徴、サービス提供のための組織化、サービスの質評価と改善および組織変革理論等について学ぶ。また、リーダーに必要な能力について学ぶ事を通して、多職種が連携して行う医療サービスの協働者として、leadershipやfollowershipを発揮するための基本的な態度を身に付ける。

・教育成果(アウトカム)

看護管理学の基本的要素(看護ケアのマネジメント、看護サービスのマネジメント)を活用しながら、職位や権限の有無にかかわらず、看護職者がケアや組織の問題に気付き、主体的に他者と協働し変化を起こすことの重要性について理解できる。また、組織が創造的に発展することを推進するマネジメントとリーダーシップについて理解できる。さらに、看護職として働く上で必要となるセルフマネジメントについて理解したうえで、自己のキャリア形成について考察することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

| | |
|---|---|
| 1 | 医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。 |
| 2 | 生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。 |
| 3 | 看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。 |
| 4 | 看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。 |
| 5 | 患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。 |
| 7 | 保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。 |
| 8 | コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。 |

・到達目標(SBO)

1. 看護サービスを提供するための仕組みについて説明できる。
2. 組織における人間および人間関係について、理論を用いて説明できる。
3. 組織の構成員を調整する要素、問題解決の方法について説明できる。
4. 安全なケアをチームとして組織的に提供する意義について説明できる。
5. 専門職として生涯にわたり学習し続け成長していくために、自己管理していく重要性について説明できる。
6. 看護職として職業継続にむけたキャリア形成について自身の考えを深めることができる。

・授業日程

【講義】

会場：トクタヴェール講義室2

| 月日 曜日 時限 | 授業内容/到達目標 | 担当教員 |
|-----------------|---|------------------------|
| 4/14 火 3限 | <p>【授業内容】看護管理学の基本的要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護管理学の基本的要素の概略について説明できる ・看護ケアのマネジメントと看護サービスのマネジメントについて説明できる <p>【関連するSBO】1、3</p> <p>【事前学修:120分】ナイチンゲールの「看護覚え書き」第3章(小管理)を読み、要約する</p> <p>【事後学修:90分】看護のマネジメントが行われる場(保健、医療、福祉、地域)の看護ケアのマネジメント、看護サービスのマネジメントについてまとめる</p> | 共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授 |

| | | |
|-----------------|--|------------------------|
| 4/21 火 2限 | <p>【授業内容】看護職としてのセルフマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働者のタイムマネジメント、健康管理について説明できる ・組織、個人の視点からキャリアディベロップメントについて説明できる <p>【関連するSBO】5、6</p> <p>【事前学修：120分】「看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」(日本看護協会)の第3～4章を読み要約する</p> <p>【事後学修：90分】現在考えている自分のキャリアプランについて規定の用紙にまとめる</p> | 共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授 |
| 4/23 木 2限 | <p>【授業内容】看護サービスのマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護サービスの特徴について説明できる ・看護サービスの質評価と保証について説明できる <p>【関連するSBO】1、2、4</p> <p>【事前学修：90分】実習を通して感じた看護サービスの課題についてまとめる</p> <p>【事後学修：180分】(提出)事前学修であげた看護サービスの課題への改善策をまとめる</p> | 共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授 |
| 4/28 火 2限 | <p>【授業内容】看護ケアのマネジメント①(医療安全)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織的に取り組む医療安全について説明できる ・対象者の安全確保にむけた看護職者の行動について説明できる <p>【関連するSBO】1、2、3、4</p> <p>【事前学修：90分】2年次「医療安全論」で学修した安全文化の醸成について復習する</p> <p>【事後学修：90分】対象者の安全確保にむけた看護職者の行動について要点をまとめる</p> | 共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授 |
| 5/8 金 2限 | <p>【授業内容】看護ケアのマネジメント②(院内感染対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織的に取り組む院内感染対策について説明できる ・院内感染予防にむけた看護職者の行動について説明できる <p>【関連するSBO】1、2、3、4</p> <p>【事前学修：90分】スタンダードプリコーション(標準予防策)、5モーメントについて復習する</p> <p>【事後学修：90分】院内感染予防にむけた看護職者の行動について要点をまとめる</p> | 共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授 |
| 6/23 火 2限 | <p>【授業内容】情報のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を適切に管理するための方法について説明できる ・医療における個人情報保護の特徴について説明できる <p>【関連するSBO】1、2、4</p> <p>【事前学修：90分】個人情報の流出事件や事故を調べ、発生要因と組織の対応をまとめる</p> <p>【事後学修：90分】個人情報保護における看護職者の行動について要点をまとめる</p> | 看護学部 菖蒲澤 幸子 非常勤講師 |
| 7/2 木 1限 | <p>【授業内容】リーダーシップとマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップに関する理論を用いて組織における人間および人間関係について説明できる ・組織や集団を調整するための技術や能力について説明できる <p>【関連するSBO】2、3、5、6</p> <p>【事前学修：90分】リーダーシップに関する理論についてまとめる</p> <p>【事後学修：60分】実習を通してロールモデルとなった看護職者を振り返り、リーダーとしての能力についてまとめる</p> | 共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授 |
| 7/2 木 2限 | <p>【授業内容】リーダーシップとマネジメント(グループワーク・プレゼンテーション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習を通してロールモデルとなった看護職者を振り返り、理想とするリーダー像を考察できる ・リーダーに必要な能力について発表することができる <p>【関連するSBO】3、5、6</p> <p>【事前学修：60分】グループワークの課題について他者に説明できるよう準備する</p> <p>【事後学修：300分】プレゼンテーションで共有した内容から、自分の考えをまとめる。さらに、講義内容についてすべての配布資料と教科書該当ページを読み返し、要点をまとめる</p> | 共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授 |

・教科書・参考書等

教:教科書

参:参考書

推:推薦図書

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|------------------------------------|--------|------|------|
| 教 | 系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践[1] 看護管理 第11版 | 上泉和子 他 | 医学書院 | 2024 |

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験70%、課題レポート20%、グループワークの取り組み状況10%の合計100%にて評価する。課題レポートおよびグループワークの取り組み状況の評価基準は、初回授業で提示する。

【形成的評価】各回の講義において習得度チェック(国家試験問題等による確認テスト)を行い、学生の習得度を確認する。なお、習得度チェックについては成績に反映しない。また、アンケートフォーム(Google Forms)を通して、学生の理解度および学修の成果を確認する。

| DP | SBO | 小テスト | 定期試験 | 課題 | GW | 実技 | その他 | 合計 |
|---------|-------|------|------|----|----|----|-----|-----|
| 1、2 | 4 | | | 20 | | | | 20 |
| 3、5、7、8 | 1、2、3 | | 70 | | | | | 70 |
| 4 | 5、6 | | | | 10 | | | 10 |
| 合計 | | 0 | 70 | 20 | 10 | 0 | 0 | 100 |

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・提出された課題レポートは、評価後コメントをつけて講義最終日に返却する。
- ・習得度チェックについては、講義内に解答・解説を行う。
- ・授業に関する質問はアンケートフォーム(Google Forms)を活用し、全体に伝えるべき内容は次回の授業で回答する。

【その他】

能動的学習のためスマートフォン等を用い、双方向性型授業ツールとしてアクティブラーニングツール「Slido」を利用する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3): 専門分野 看護の統合と実践
助産師(別表2): 助産管理

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|----------------------------------|----|--------------------|
| 講義 | ノートPC | 2 | 講義用、カードリーダー用(出席確認) |
| 講義 | プロジェクター(EPSON EB-L610WVPL-FWZ60) | 1 | 講義用スライド投影 |
| 講義 | 書画カメラ(ELMO PX-10) | 1 | 講義用資料投影 |